

土壌調査業務特記仕様書																																																																
.調査業務内容																																																																
業務名称	東北大学（星陵）ライフサイエンスラボ新営土壌汚染調査業務																																																															
業務場所	宮城県仙台市青葉区星陵町1 - 1（東北大学星陵団地構内）																																																															
業務期限	令和6年12月25日（水）																																																															
調査数量	<table><tr><th>調査</th><th>位置</th><th>土壌汚染のおそれの区分の分類</th><th colspan="2">試料採取数</th><th colspan="2">分析数</th></tr><tr><td rowspan="2">土壌ガス</td><td rowspan="2">現地盤</td><td>全部対象区画：単位区画毎に1地点</td><td>26地点</td><td rowspan="2">29地点</td><td>26検体</td><td rowspan="2">29検体</td></tr><tr><td>一部対象区画：30m格子内の1地点</td><td>3地点</td><td>3検体</td></tr><tr><td></td><td>配管下</td><td>全部対象区画：単位区画毎に1地点</td><td>-</td><td></td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>土壌溶出量</td><td>現地盤</td><td>全部対象区画：単位区画毎に1地点</td><td>26地点</td><td rowspan="2">51地点</td><td>26検体</td><td rowspan="2">57検体</td></tr><tr><td>土壌含有量</td><td></td><td>一部対象区画：30m格子内の複数地点</td><td>6地点</td><td>3検体</td></tr><tr><td></td><td>配管下</td><td>全部対象区画：単位区画毎に1地点</td><td>19地点</td><td></td><td>28検体</td><td></td></tr><tr><td>土壌溶出量</td><td colspan="4">水銀及びその化合物が不適合となった区画（アルキル水銀）</td><td colspan="2">-</td></tr><tr><td>備考</td><td colspan="6">1，調査は図示した地点で行うこと。 2，印：土壌ガスの配管下は、現地盤と同一箇所で開催を実施すること。</td></tr></table>							調査	位置	土壌汚染のおそれの区分の分類	試料採取数		分析数		土壌ガス	現地盤	全部対象区画：単位区画毎に1地点	26地点	29地点	26検体	29検体	一部対象区画：30m格子内の1地点	3地点	3検体		配管下	全部対象区画：単位区画毎に1地点	-		-		土壌溶出量	現地盤	全部対象区画：単位区画毎に1地点	26地点	51地点	26検体	57検体	土壌含有量		一部対象区画：30m格子内の複数地点	6地点	3検体		配管下	全部対象区画：単位区画毎に1地点	19地点		28検体		土壌溶出量	水銀及びその化合物が不適合となった区画（アルキル水銀）				-		備考	1，調査は図示した地点で行うこと。 2，印：土壌ガスの配管下は、現地盤と同一箇所で開催を実施すること。					
調査	位置	土壌汚染のおそれの区分の分類	試料採取数		分析数																																																											
土壌ガス	現地盤	全部対象区画：単位区画毎に1地点	26地点	29地点	26検体	29検体																																																										
		一部対象区画：30m格子内の1地点	3地点		3検体																																																											
	配管下	全部対象区画：単位区画毎に1地点	-		-																																																											
土壌溶出量	現地盤	全部対象区画：単位区画毎に1地点	26地点	51地点	26検体	57検体																																																										
土壌含有量		一部対象区画：30m格子内の複数地点	6地点		3検体																																																											
	配管下	全部対象区画：単位区画毎に1地点	19地点		28検体																																																											
土壌溶出量	水銀及びその化合物が不適合となった区画（アルキル水銀）				-																																																											
備考	1，調査は図示した地点で行うこと。 2，印：土壌ガスの配管下は、現地盤と同一箇所で開催を実施すること。																																																															

一般特記事項	
総則 その他	<p>本調査業務の受注者は、測量調査等請負契約要項(平成15年7月22日付け 15文科施第164号 文教施設部長通知)、本特記仕様書を含む図面4枚、及び工事写真撮影要領(文部科学省)に基づき調査する。</p> <p>(1) 請負代金の支払い 請負代金は、国立大学法人東北大学財務部から 1 回に支払うものとする。</p> <p>(2) 測量調査等請負契約要項の運用について 要項第4条の規定により、業務工程表を提出すること。</p> <p>(3) 調査の時期について（調査スケジュール参照） ・旧RI病棟以外の地点においては、R6.3月に現地調査を実施し、R6.4.30までに調査結果をまとめること。 ・旧RI病棟の地点においては、R6.10月に現地調査を実施し、R6.11.29までに調査結果をまとめること。 ・現地調査においては、病院運営や大学行事に支障のないよう、監督職員と協議の上実施すること。</p> <p>(4) 作業の立会い等 監督職員の立会い検査は、次の場合に行う。 ・調査位置の決定 ・掘削開始前 ・図面になく埋設配管等を発見した場合</p> <p>(5) その他 ・既存図の確認、手掘りによる確認（GL-1.5m程度まで）、適宜探査機器による調査等により埋設配管等の位置を確認し、損傷しないように配慮する。 ・届出に必要とする調査結果関係資料を作成及び打ち合わせを行う。 ・本調査結果について行政との打合せ資料作成及び打ち合わせを行う。 ・本学が届出の際に行う行政との打ち合わせに同席・説明を求める場合がある。 ・調査孔は、試料採取後砕石等にて早期に復旧を行う。 ・調査完了に際しては、後片付け及び清掃を行う。 ・工事車両の駐車位置等については、監督職員と協議の上、施設の運営に支障がないよう配慮する。 ・調査用水は、構内より無償支給とする。</p>

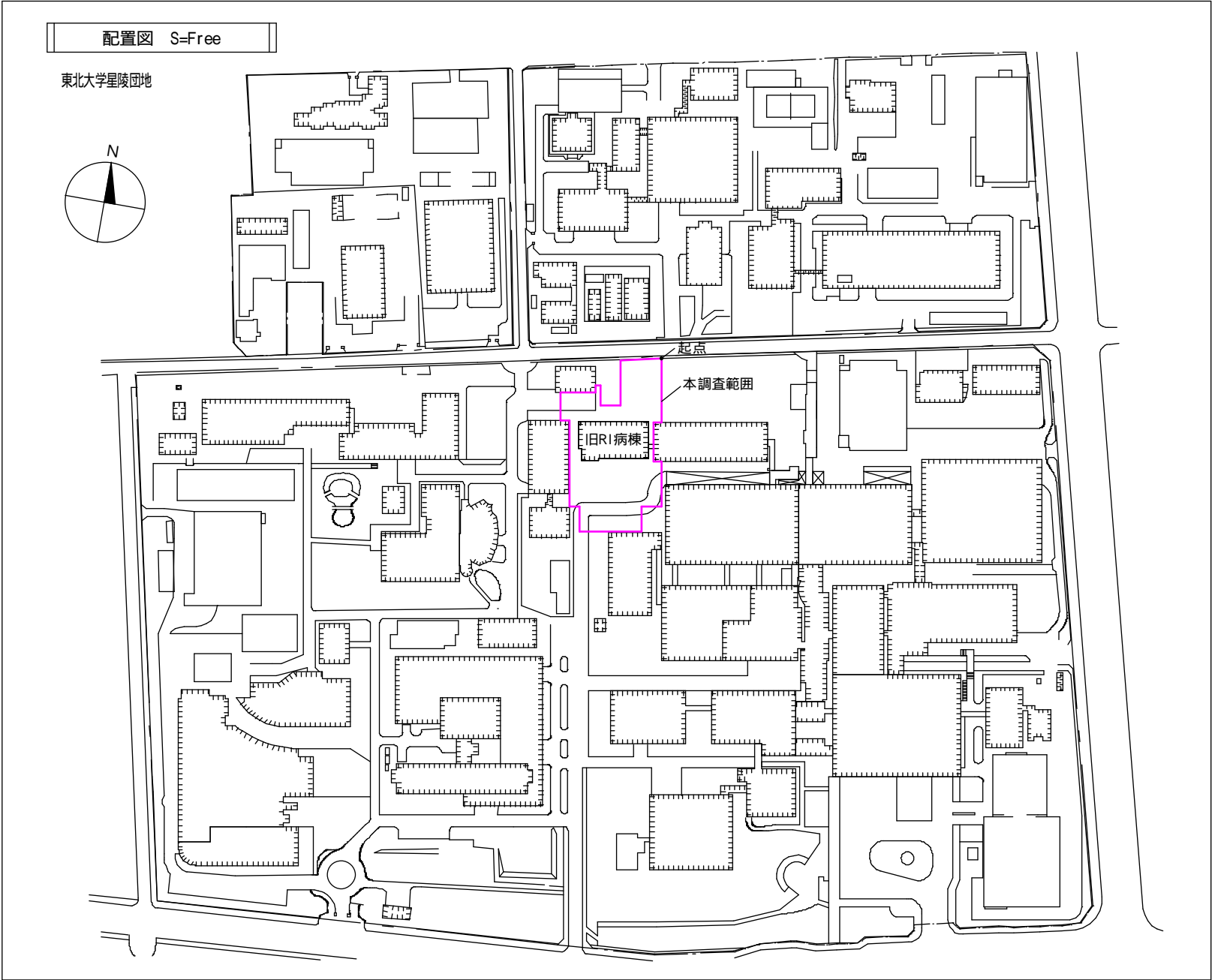
土壌調査	
調査内容	<p>1. 試料採取</p> <p>(1) 土壌ガス 地表面から深さ1.0mまで削孔し、孔内の土壌ガスを採取する。</p> <p>(2) 土壌 現地盤面の試料は地表面のアスファルト等を除く土壌表面から深さ5cm及び深さ5～50cmの土壌を採取する。 なお、配管下の試料採取地点では表1に示す深度で土壌を採取すること。</p> <p>2. 土壌分析</p> <p>(1) 分析試料 採取後の土壌試料は表層から深さ5cm及び深さ5～50cmの土壌を1:10の割合で均等混合し分析試料とする。 全部対象区画の試料は、単位区画（10m格子）の試料を分析する。 一部対象区画の試料は、30m格子内の複数単位区画からの試料を均等混合し、その混合試料を分析する。 なお、配管下の試料は、単位区画（10m格子）の試料を分析する。</p> <p>(2) 調査対象物質</p> <p>1) 第1種特定有害物質（土壌ガス調査） 四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、ジクロロメタン、ベンゼン（4物質）</p> <p>2) 第2種特定有害物質（土壌溶出量調査・土壌含有量調査） 全9物質</p> <p>3) アルキル水銀 水銀及びその化合物が不適合であった場合に実施</p> <p>4) 第3種特定有害物質（土壌溶出量調査） 有機リン化合物（1物質）</p> <p>(3) 調査方法</p> <p>1) 土壌ガス調査：環境省告示第16号（平成15年3月6日）に定める方法</p> <p>2) 土壌溶出量調査：環境省告示第18号（平成15年3月6日）に定める方法</p> <p>3) 土壌含有量調査：環境省告示第19号（平成15年3月6日）に定める方法</p>

（調査スケジュール）. 一般特記事項/その他/（3）調査の時期について

調査箇所	R5(2023)						R6(2024)											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
旧RI病棟以外の部分						①	②	③										
旧RI病棟部分													①	②	③			

上屋とりこわし（別途）

①：現地調査 ②：分析・報告書作成 ③：届出等

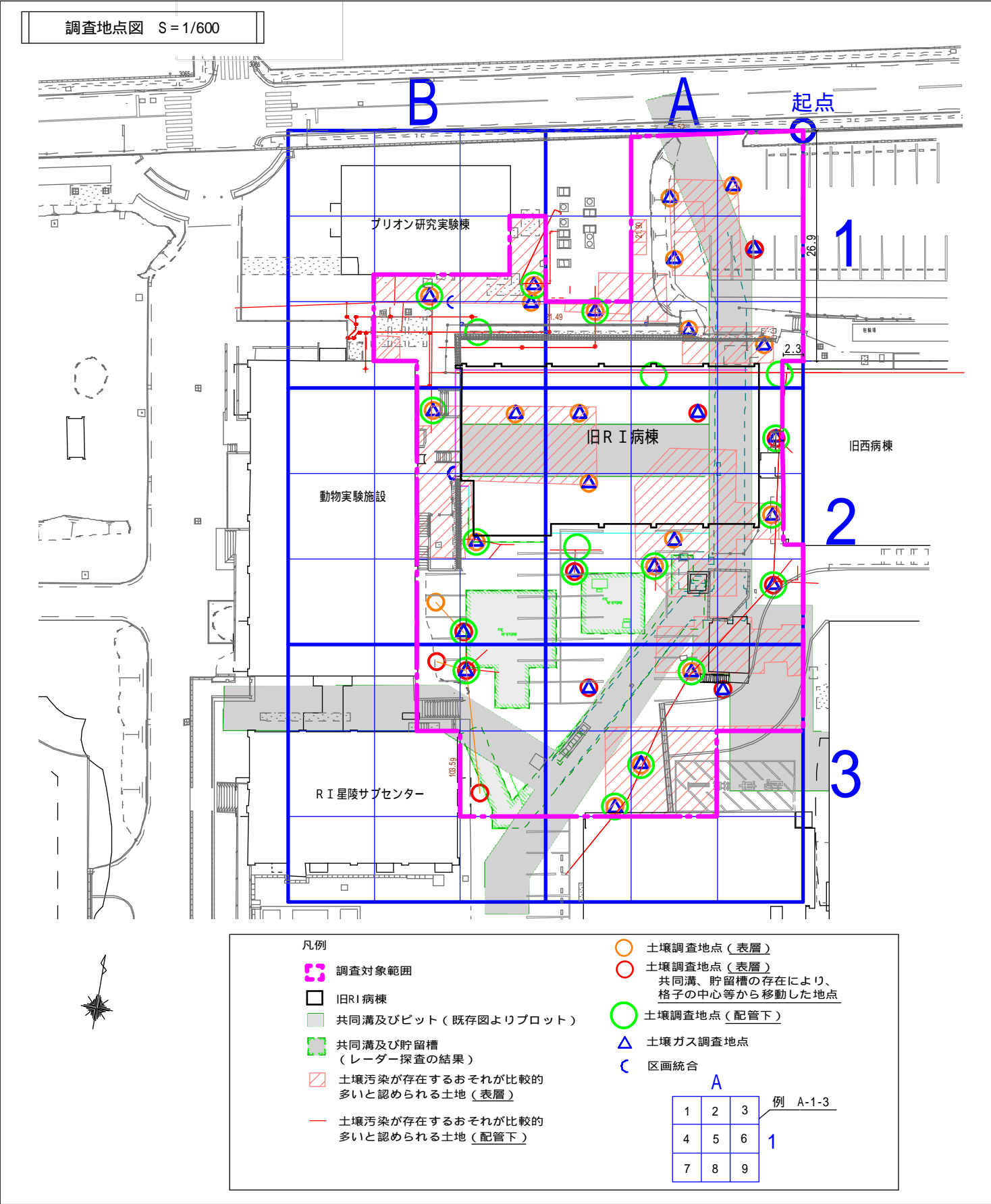


業務名称	東北大学（星陵）ライフサイエンスラボ新営土壌汚染調査業務	令和5年度
図面名称	特記仕様書・配置図	東北大学 施設部

(表1) 土壌調査/調査内容/1.資料調査/(2)土壌 配管深度等一覧

対象 区画	地点	土壌採取 箇所 (地点)	1か所目			2か所目			土壌 ガス
			掘削深度 (cm)	採取深度 (cm)	地表面の状 況	掘削深度 (cm)	採取深度 (cm)	地表面の状 況	
全部	A-1-2	1	50	0-50	土				○
全部	A-1-3	1	50	0-50	アスファルト				○
全部	A-1-5	1	50	0-50	土				○
全部	A-1-6	1	50	0-50	アスファルト				○
全部	A-1-7	1	120	0-50、70-120	土				○
全部	A-1-8	2	50	0-50	土	※ 121	71-121	コンクリート	○
全部	A-1-9	2	50	0-50	土	169	119-169	土	○
全部	A-2-1	1	※ 50	0-50	コンクリート				○
全部	A-2-2	1	※ 50	0-50	コンクリート				○
全部	A-2-3	1	180	0-50、130-180	土				○
全部	A-2-4	2	※ 50	0-50	コンクリート	179	129-179		○
全部	A-2-5	1	50	0-50	アスファルト				○
全部	A-2-6	1	195	0-50、145-195	土				○
一部	A-2-7	1	179	0-50、129-179	アスファルト				○
全部	A-2-8	1	84	0-50、34-84	アスファルト				○
全部	A-2-9	1	197	0-50、38-88、 147-197	アスファルト				○
全部	A-3-1	1	50	0-50	アスファルト				○
全部	A-3-2	1	230	0-50、180-230	アスファルト				○
全部	A-3-3	1	50	0-50	アスファルト				○
全部	A-3-4	1	134	0-50、84-134	アスファルト				○
全部	A-3-5	1	218	0-50、168-218	アスファルト				○
全部	B-1-6	1	120	0-50、70-120	土				○
全部	B-1-5 B-1-8と統合	1	120	0-50、51-101、 66-116、70- 120、70-120、 70-120、70-120	土				○
全部	B-1-9	2	50	0-50	土	120	51-101、 70-120、 70-120	土	○
全部	B-2-2 B-2-5と統合	1	107	0-50、57-107	アスファルト				○
全部	B-2-3	1	※ 50	0-50	コンクリート				○
全部	B-2-6	1	120	0-50、62-112、 70-120	アスファルト				○
一部	B-2-8	1	50	0-50	アスファルト				
一部	B-2-9	1	145	0-50、95-145	アスファルト				○
一部	B-3-2	1	50	0-50	アスファルト				
一部	B-3-3	1	145	0-50、95-145	アスファルト				○
一部	B-3-6	1	50	0-50	アスファルト				
合計 土壌採取：		36	地表面の状況：			土壌ガス：			29
			土			12			
			コンクリート			5			
			アスファルト			19			

※旧RI病棟部分





業務名称	東北大学（星陵）ライフサイエンスラボ新営土壌汚染調査業務	令和5年度
図面名称	【参考図面】旧R1病棟 平面図	東北大学 施設部

